

建築・都市整備・道路委員会
令和7年12月12日
都市整備局

けやき通り西交差点の渋滞対策について

- 1 概要
- 2 主な渋滞の原因
- 3 これまでの経緯
- 4 社会実験
- 5 渋滞対策の内容
- 6 左折専用レーン設置に伴う工事
- 7 渋滞対策のスケジュール

1 概要

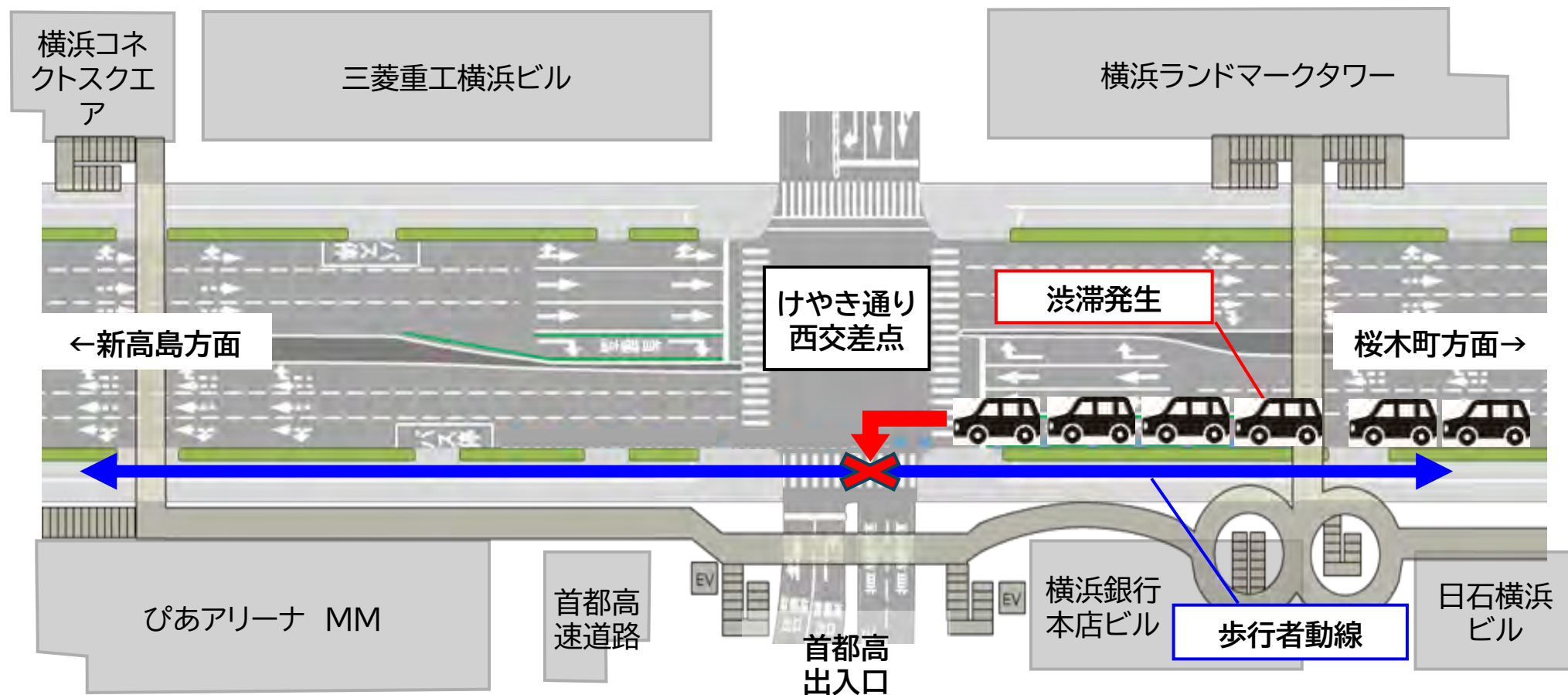
首都高速道路みなとみらい出入口があるけやき通り西交差点では、渋滞が慢性化しており、その解消が望まれています。

渋滞解消に向けて神奈川県警察と協議を行った結果、首都高速道路へ左折する専用レーンを設けることになりました。



2 主な渋滞の原因

イベント開催時などに、けやき通り西交差点において、横断歩道を渡る多くの歩行者により、桜木町方面から来た車両が首都高速道路へ左折し難くなることが主な渋滞の原因と考えられます。



3 これまでの経緯

令和4年8月

首都高速道路へ左折する車両の通過交通量を増やすため、横断歩道が赤信号になった後の、車道の直進・左折時間を2秒から12秒に延長しました。
(神奈川県警察により対応)

令和6年5月

更なる渋滞解消に向けて、第2回市会定例会 建築・都市整備・道路委員会にて、首都高速道路出入口の横断歩道を封鎖する社会実験の実施について報告しました。

令和6年11月

横断歩道を封鎖する社会実験を実施し、その効果や課題点を検証しました。

令和6年12月～令和7年12月

社会実験の結果を踏まえて神奈川県警察と渋滞対策について協議を行いました。

4 社会実験

社会実験では、横断歩道をバリケードで封鎖することにより、横断歩道が無い状況を模擬的に作りました。

■横断歩道封鎖期間

令和6年11月5日（火）から11月11日（月）までの7時から22時に実施しました。
(ぴあアリーナMMでのイベント開催を2日含む)

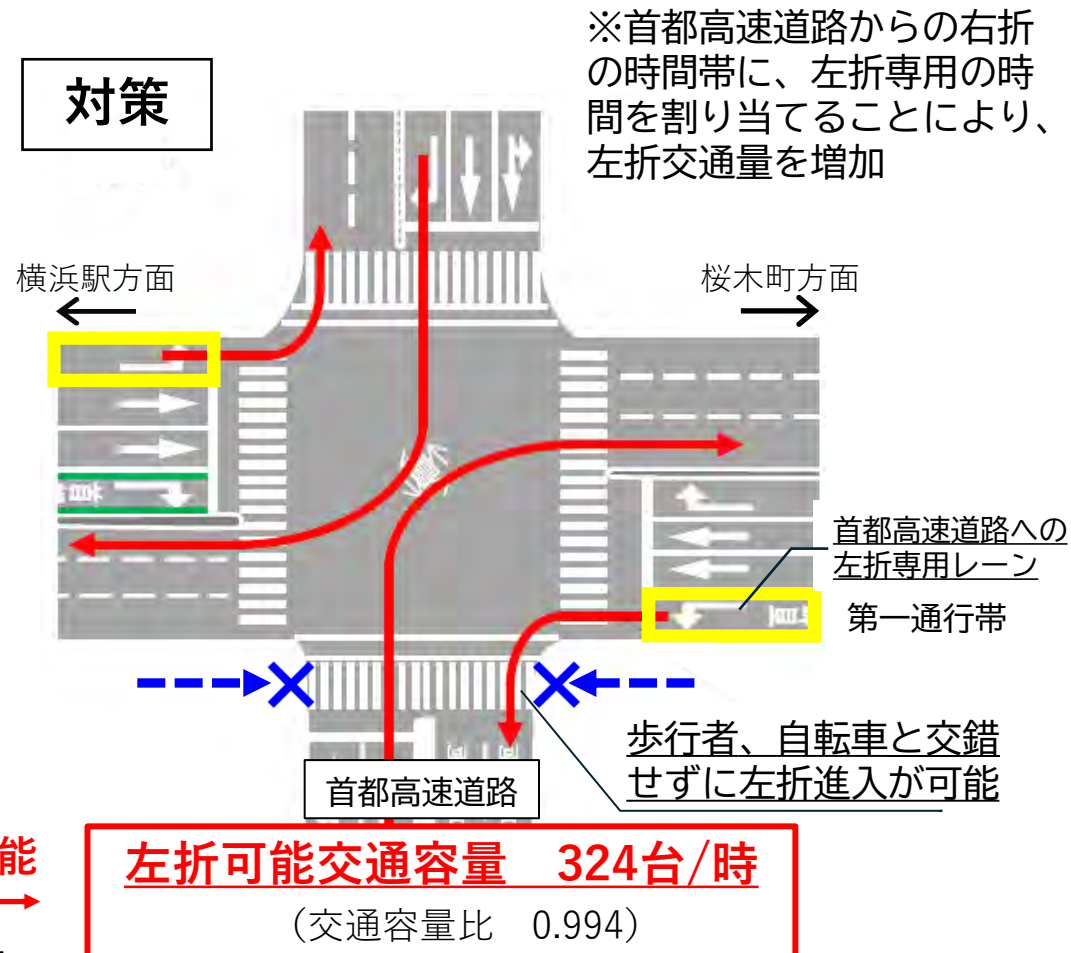
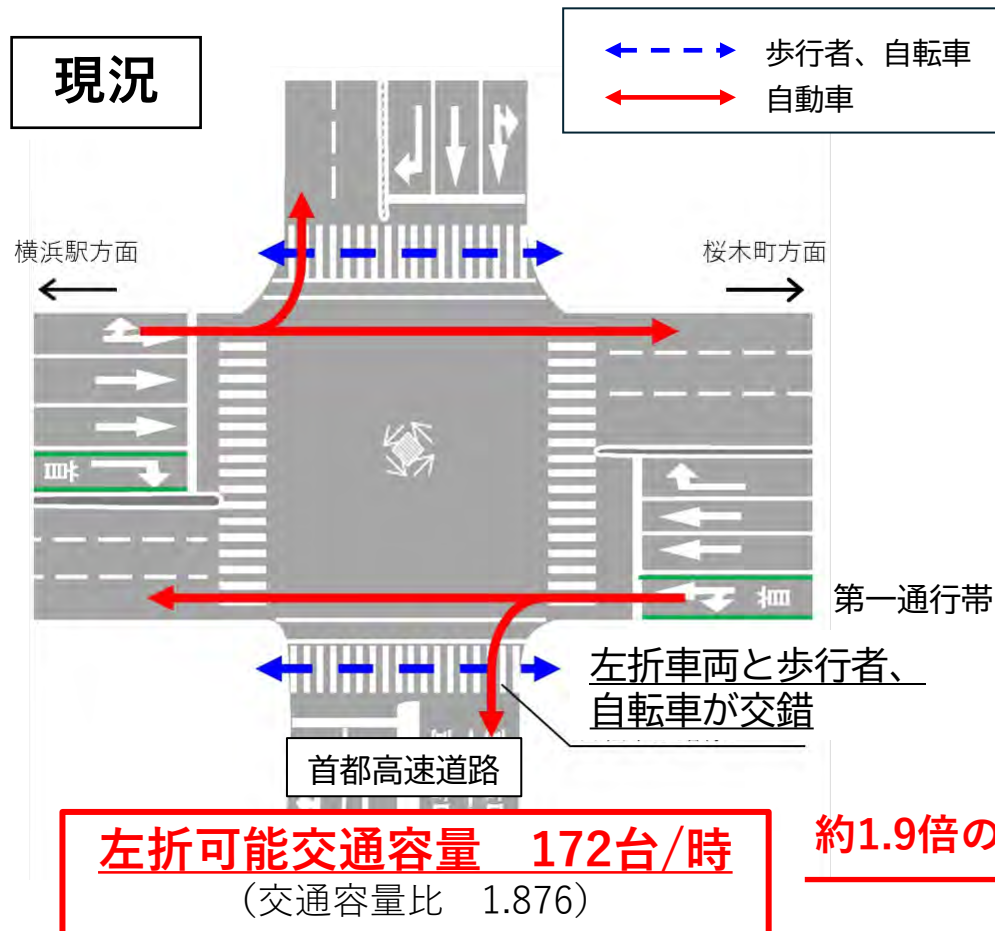
■社会実験の結果

- ①渋滞は発生せず、横断歩道封鎖は渋滞対策として効果があることを確認できました。
- ②周辺施設で開催されたイベントの来場者が退場する際も、デッキは自由に歩行ができる状況であり、歩行者の混乱やトラブルはありませんでした。
- ③自転車と車の動線が錯綜する場面が確認されました。



5 渋滞対策の内容

神奈川県警察と協議を行った結果、まずは横断歩道を撤去せず、首都高速道路への左折専用レーンを設け、左折可能な時間を大幅に増加させることになりました。



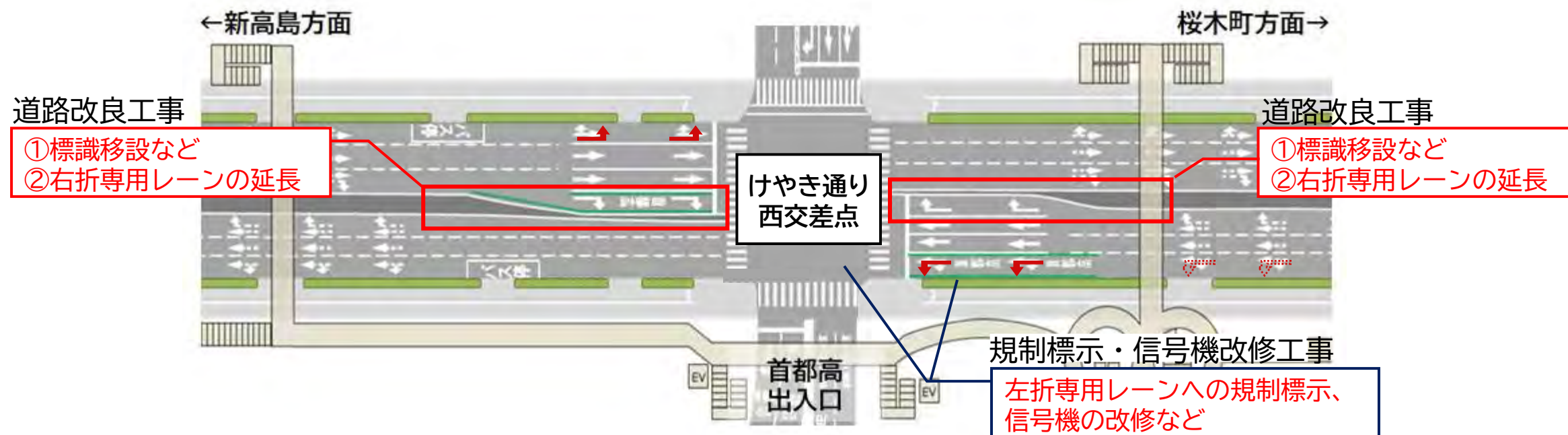
約1.9倍の左折車の処理が可能

※ 交通容量比 = $\frac{\text{実際の交通量}}{\text{可能交通容量}}$

(数字はシミュレーションによる推計値です。)

6 左折専用レーン設置に伴う工事

左折専用レーンの設置に伴い、直進可能なレーンが1車線減少します。休日には右折レーンに右折車が収まらず、直進車を阻害する場面も見受けられ、直進レーンの円滑な交通処理を図るため、右折専用レーンの延長などの道路改良工事を併せて行います。神奈川県警察では、路面への規制標示と信号機の改修工事を行います。



7 渋滞対策のスケジュール

令和8年1月から標識の移設などを開始し、4月から右折専用レーンの延長工事を実施します。

規制標示・信号機改修工事については、神奈川県警察において、下半期に実施される見込みです。

	令和8年				令和9年	
	1	4	7	10	1	4
本市工事 (道路改良工事)	標識移設	右折専用レーンの延長				対策完了 (予定)
神奈川県警察工事 (規制標示・信号機 改修工事)				(調整中)		